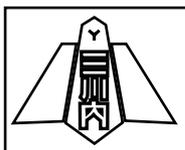


学校だより

あったか三川内



令和4年 1月25日
佐世保市立三川内小学校
校長 磯平 正敏

学校教育目標：「夢に向かい 自ら学び、考え、行動する 心豊かな子どもの育成」
郷土「三川内」に誇りをもち、たくましく未来を切り拓いていく、
心豊かで元気のある子どもを育成する。

【全国学校給食週間】（1/24～1/30）

日本の学校給食の発祥は、明治22年（1889年）山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）の私立忠愛小学校とされています。お腹をすかせている児童に、何か食べさせて元気を付けさせてあげたいとの思いから、昼の食事を出したことが始まりだそうです。当時の献立は、おにぎり、塩鮭、漬物です。当時の子どもたちの喜ぶ顔が目に浮かぶようです。それから、給食は全国に広がっていき、途中戦争の影響で中断されましたが、戦後の昭和21年から再開され現在に至っています。昭和25年度から、学校給食による教育効果を促進する観点から1/24～1/30までの1週間を「学校給食週間」としました。この週間にちなんで、本校でも給食集会を実施し、学校給食に関する理解や給食に携わる人々への感謝の気持ちを深めました。

【給食集会から】

1月25日（火）朝の時間に、給食集会（放送）をしました。本来ならば、体育館に全校児童が集まり集会を開くのですが、コロナ禍のため放送で行いました。保健給食委員会と松永教諭・三浦養護教諭が作った給食に関する動画を流し、子どもたちは各教室で視聴しました。

動画の内容は以下の通りです。

① 給食のマナーについて

マナー違反（肘をついて食べる 食器を持たずに前かがみで食べる 足を投げ出して食べる）を示し、どの姿勢も悪い食べ方であると確認しました。姿勢が悪いと、内臓が圧迫されて食べ物がうまく消化できなくなり、体に悪い影響が出ること。良い姿勢は「グー・ペタ・ピン」（机との間隔を握りこぶし程度開け、両足を床に付け、背筋をまっすぐ伸ばす）であることを確認しました。

② 好きなメニューアンケートの結果発表

アンケートの結果より第1位はカレー、第2位はラーメン、第3位はハヤシライスでした。

③ 栄養について

赤色の食べ物・・・主に体をつくる。（肉、魚、豆、卵、牛乳、小魚、のり、わかめ など）

黄色の食べ物・・・熱や力のもとになる。（ごはん、うどん、芋、砂糖、油、バター など）

緑色の食べ物・・・体の調子を整える。（野菜：キャベツ、きゅうり、ねぎ、大根、人参 など）

約10分の動画でしたが、委員会の皆さんが劇やクイズで発表してくれたので、とても分かりやすく集中して視聴することができました。保健給食委員会の皆さん・松永教諭・三浦養護教諭ありがとうございました。

【給食週間に各学級で取り組むこと】

- ・学級活動：「給食ができるまで」の資料をもとに、給食や食に関する理解を深める。
 - ・「えいようのうた」を音楽の時間などで歌う。（間隔をとって・マスク着用）
 - ・給食に関する作品（手紙・作文・標語・絵・ポスターなど）に取り組む。各学級2点を代表作品として選び、表彰する。絵・ポスターは教室や学年の掲示板に掲示する。手紙・作文・標語は、綴って調理員さんへ渡す。学級代表2点の作品は、昼の放送で発表する。発表日は2/1（火）1・2年生、/2（水）3・4年生、/3（木）5・6年生。
- どの学級も、命をいただいている食べ物や給食を作ってください調理員さん、給食の物資に携わっている人々など全ての人に感謝し、給食を残さず食べて丈夫な体をつくってほしいと思います。

